

令和2年 千葉市議会第4回定例会



議場にて

元気発信！花見川！

【主な役職】千葉市議会副議長／後期高齢者医療広域連合議会議員／総務委員会委員／立憲民主党千葉県総支部連合会副幹事長
花見川中学校区青少年育成委員会顧問／花見川中学校学校評議員／花見川小学校学校評議員／ニュー花見川ショッピング自治会会長

だんぎ和彦 市議会 レポート

本年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、働き方・生活様式が一変した一年となりました。また、このところ第3波により、感染された方々が重篤化するケースも多いと伺っており、より一層の警戒が必要となっております。

前議会に引き続き、新型コロナウイルス感染症の対策を継続しながらの開会となりました「令和2年第4回定例会」は、11月26日(木)に初日を迎え13時間開会となり、はじめに10月28日(金)逝去された故秋葉忠雄議員追悼の辞により、全員での黙とうを行いました。諸般の報告後議事に入り、会期決定の件、議案第146号審議、発議第20号審議、議案第147号、第188号及び発議第19号が上程され提案理由説明が行われ、請願第5号が委員会付託となりました。議事終了後は、各会派に分かれての議案研究となりました。

12月1日(火)は2名が登壇し議案質疑が行われ常任委員会付託となり、翌2日(水)には5常任委員会による案件審査が行われました。また、私の所属する総務委員会においては、案件審査終了後所管事務調査を行いました。内容は、総合政策局所管の次期基本計画総論についての素案の検討状況や千葉市の特性、全体策定スケジュールが示され、委員全員からの意見・要望が出されました。

12月4日(金)及び7日(月)は代表質問、8日(火)からは一般質問がはじまり14日(月)まで続き、25名が登壇いたしました。また、この議会中も幹事長会議・正副議長代表者会議・議会運営活性化推進協議会・議会運営委員会他、様々な会議が何度か開催されました。

最終日の12月15日(火)は13時間開議となり、今議会の議案・発議・請願に対する各委員長報告・討論・採決の後、追加議案審議及び発議審議が行われ、県知事選挙立候補のため今議会が最後の定例会となる熊谷市長より発言がありました。私自身も、この11年間市長として千葉市政にご尽力いただいた熊谷俊人氏に敬意を表しながら、令和2年を締めくくる第4回定例会は閉会となりました。

今定例会における議案と本市の施策・政策について

今議会に当初提出された議案は43件で、予算案5件(補正予算5件)、条例案3件(制定1件・一部改正2件)、一般議案35件(宝くじ発売額1件・工事請負契約4件・指定管理者の指定29件・議決事件の一部変更1件)となっております。

また、発議第19号及び委員会付託省略で初日に可決となった、「千葉市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例」の一部改正である発議第20号も上程されました。

補正予算案は、「教育施設の整備」「公共工事の平準化」「その他」として大きく3つの事業が提案されており、「教育施設の整備」では、1. 学校施設の環境整備(外壁・トイレ改修) 2. 学校施設の各種改修等(上水道設備改修・エレベーター設置)、「公共工事の平準化」では、1. 市有建築物計画的保全 2. 道路整備 3. 下水道整備、「その他」では、新型コロナウイルス感染症の影響による入院患者減による不採算医療分の補てんとする 1. 病院事業操出金となります。

条例議案は、新型コロナウイルス感染症まん延防止のための「千葉市新型コロナウイルス感染症対策条例」の制定、自動車保険等への加入を義務化する「千葉市自動車を活用したまちづくり条例」の一部改正、委員会付託省略で初日に可決となった議案第146号「千葉市職員の給与に関する条例等」の一部改正となります。

一般議案は、宝くじ発売額、千葉公園

発行責任者 千葉市議会議員 段木和彦
発行所 花見川区花島町4300-8
TEL: 043(2558)0958
FAX: 043(286)9312
携帯: 090-12325-13683
E-mail: dangi.s@codac.ocn.ne.jp

本市の新型コロナウイルス感染症の現況と対策について

新型コロナウイルス感染症については、第3波の到来とともに感染者が増加し、東京都では年末年始特別警報が発出されました。本市におきましても、新規感染者85名、市内入院者65名と増加傾向にありますので、今後に向けて拡大防止策の強化や予防を徹底していくことが求められております。そうした中、今定例会において議案第152号として上程され可決いたしました「千葉市新型コロナウイルス感染症対策条例」が施行されることとなります。

この条例では「新型コロナウイルス感染症のまん延を防止するため、市、市民及び事業者の責務を定めるとともに、感染者及び医療関係者等への配慮に関する必要な事項を定める。」としており、市の責務としては、「新型コロナウイルス感染症対策を的確かつ迅速に実施する。」「必要な知識の普及及び適切な情報の発信に努める。」「市民・事業者の責務として、「予防及びまん延防止に努めなければならないこととなる。」

「テレワークプラン販売促進事業」、「ICT活用変革促進事業」、延長となる「千葉市中小企業者事業継続給付金」が施行されることとなりました。事業概要や申請方法など、詳しくはホームページ等に掲載されておりますが、ご説明が必要な場合等ご連絡(090-2325-3683段木)いただければ伺います。

この他、パブリックコメント手続が実施される「第2期千葉市貧困対策アクションプラン(案)」「ホームレスの自立の支援等に関する第3次実施計画(案)」「千葉市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正(案)」、新年度からの計画となる「千葉市農林業成長アクションプラン」「千葉市下水道事業中長期経営計画」、策定方針がまとめられた(仮称)「千葉市スマートシティ推進ビジョン」等が進められております。

2021年に「市制100周年」を迎えることとなる千葉市ですが、私も議会といたしまして、市民の皆様・区民の皆様様に「住んで良かったと思っただけの千葉市」を、「住んでみたいと思っただけの千葉市」を目指して尽力して参る所存です。

【裏面へ続く】

【表面より続く】

い(事業者は措置を講ずるよう努めなければならない)。「まん延防止のために必要な調査・感染症防止対策に協力するよう努めなければならない」、「感染者・医療関係者等への配慮として、「何人も、新型コロナウイルス感染症に罹患していること等を理由とした不当な差別的取り扱い及び誹謗中傷をしてはならない」、「情報の発信に当たっては、正確性及び情報源の確認をするとともに、情報を発信することにより生ずる影響を考慮するよう努めなければならない。」とされており。

また、県では12月14日に、重症化のリスクが高いとされる高齢の方や基礎疾患をお持ちの方に対し、「不要不急の外出を控えること」「ご本人だけでなく同居の方も感染防止対策に細心の注意を払うこと」等と呼びかけております。

その他にも、「大人数の会食、特に飲酒を伴う場合は飛沫感染のリスクが高まることを認識し、会食は短時間として会話は食事を済ませてからマスクをして楽しむこと」、「家庭内感染が増えているため、家庭内でもこまめな手洗い・定期的な換気・ドアノブなど良く触れる部分の消毒・タオルの共用をしないこと・室内の加湿等に日頃から取り組むこと。」などが呼びかけられております。

今後も引き続き新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行うとともに、一人一人が健康診断などによる他の病気への予防にも配慮し、健康づくりに努めていくようお願い申し上げます。



花見川区の諸問題について

花見川河川空間を 利用したイベント

令和2年11月21日(土)・22日(日)の2日間、花見川河川空間利活用検討のイベントとして、花見川・花島公園お花見広場を利用した、「カヤック&バーベキューデイキャンプ」が、ミズベリング花見川主催、千葉市後援、Kayak55.com協力で開催されました。

マスク着用やソーシャルディスタンス確保等、新型コロナウイルス感染症対策に気を配った開催となりましたが、特に22日は快晴となり、家族連れや友人グループがカヤック・バーベキューデイキャンプを楽しまれました。地域資源の利活用につきまして、今後も推進して参りたいと考えています。

通学路の安全確保について

子どもたちがこてはし台4丁目方面からこてはし台小学校に通う際に、「こてはし台なか通り」という比較的広い通りを横断することとなりますが、信号機のない横断歩道があり、大変危険であるとお聞きし現地に向いました。

PTA役員の皆様、教頭先生とご一緒していただき、現地を確認し、お話を伺ったところによると、以前にも学校・PTA連名で、信号機設置の要望書を提出されたとのことでした。この時には近くに信号があること等を理由に却下となっていました。このことですが、カラー舗装・路面標示等については実施していただいたとのことでした。



こてはし台小学校通学路・信号の無い横断歩道

ただ、通学路としてだけではなく、すぐ近くに子どもたちが集まる公園があることや、買い物のため横断歩道をご利用される高齢者も多く、近くに信号がありますが、スピードを出す車もあり危険であると感じました。また、死亡事故もあつたとも伺いました。

◆ ◆ ◆

今後は、信号機の設置を再検討いただくための要望書を管内の警察署に提出するとともに、注意喚起の看板・のぼりの設置等、対策を進めて参りたいと思っております。

ぜひ、一緒に
考えましょう！

皆様からのご意見・ご相談・お問い合わせをお待ちしております。

2020年を振り返って 2021年に向けて

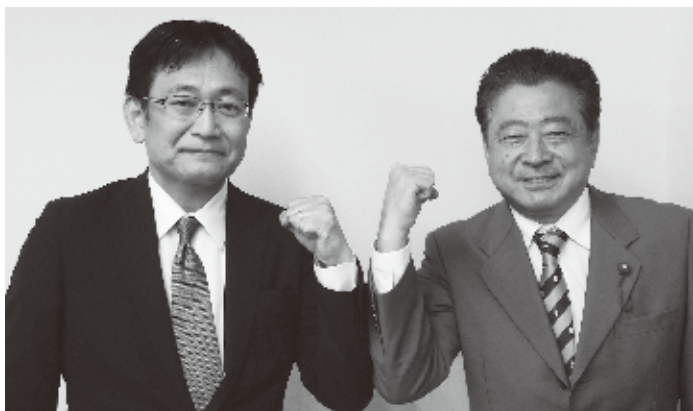
2020年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活様式や働き方などが一変した一年となりました。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめ大きなイベントや会議なども次々に延期・中止となり、千葉市においても様々な行事が見送られることとなりましたが、そうした中でも、4月には千葉市の未来に向けて、「千葉市新庁舎新築工事起工式」が挙行されました。また、7月には千葉市の美術振興の核となる、千葉市美術館がリニューアルオープンいたしました。

2021年、千葉市は市制100周年を迎えますが、熊谷市長が千葉県知事選挙に出馬することに伴い、新市長をリーダーとして新たな船出となります。財政健全化や新庁舎建設ほか、熊谷市長が多くの道筋を示してくれましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりダメージを受けた経済の復興、人口減少に転じる中でのまちづくりなどの課題もあります。

2021年は新市長を迎え、市民の皆様とともに「夢と希望を育み、生涯を安心して託していける郷土千葉市」を創造し、未来にバトンを渡していくためにも、誠意と情熱を持って全力で取り組んで参ります。



熊谷市長と



神谷元千葉市副市長と

ご意見、お問い合わせは、こちらまでお寄せください。

TEL:043-258-0958 FAX:043-286-9312 E-mail:dangi.s@coda.ocn.ne.jp